

# こまめにハイビーム運動

## ロービームばかりで走っていませんか？

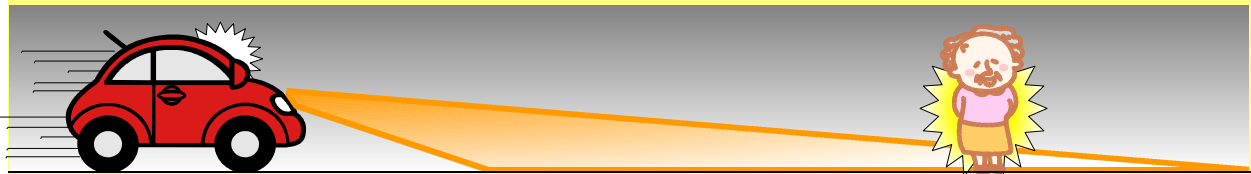
ハイビームとロービームのこまめな切替えで夜間の歩行者や自転車を早期に発見し、交通事故を未然に防ぎましょう。

北海道で平成25年中に発生した車×歩行者の死亡事故は53件で、夜間の事故は42件でした。なんと、そのうちの41件はライトをロービーム(下向き・近目)にした状態で走行中、歩行者に衝突しています。

道路交通法上は、他の車両と行き違う場合など他の交通を妨げるおそれのあるとき以外は、ハイビーム(上向き・遠目)での走行が基本です。

## ハイビームとロービームの違い

ハイビームとロービームでは、保安基準上  
**照射範囲が2倍以上違います。**



ハイビーム約100m!!

いち早く発見!



ロービーム約40m

アッと思ったときには間に合わない!

## ライト切替えの交通事故防止効果

- ハイビームに切替えることで、ライトが遠くまで照らし、前方にいる歩行者や自転車を早期に発見できるので、早めの危険回避措置をとることができます。
- ライトをこまめに切替えることで、歩行者や自転車利用者に対して、車が来ていることを早めに知らせる効果が期待できます。
- 道路や交通の状況に応じて、ライトをこまめに切替えることにより、ドライバーの緊張感が保持され、漫然運転や居眠り運転の防止にもつながります。
- ハイビームにより、高齢歩行者が車両のライトをより強く感じ、無理な横断を控える効果が期待できます。

**道民総ぐるみでの取組みを目指しましょう!!**